

令和8年度（化学）シラバス

教 科	理科	科 目	化学		
単 位 数	4	学 年	3	類 型	理系
教 科 書	化学（数研出版）		副教材	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社） 化学基礎・化学問題集（高教研理科部会化学部門）	
学習目標	化学的な事物・現象にかかわり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第4編 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物	- 有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析を理解する。 - 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて理解する。 - 官能基をもつ脂肪族化合物に関する実験などを通して、構造や、性質及び反応について理解する。 - 芳香族化合物の構造、性質及び性質に関する観察・実験を通して科学的に考察して表現する。
2 学期	第5編 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	- 高分子化合物の特徴を理解する。 - 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解し、科学的に考察して表現する。 - 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解し、科学的に考察して表現する。
3 学期	問題演習	応用的な内容を取り扱い、学習の深化を図る。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	- 定期考査 - 実験における行動観察
思考・判断・表現	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を表現するなど、科学的に探究している。	- 定期考査 - 実験の考察 - 発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	- 授業に取り組む態度 - 授業中の発言 - ノートや課題等における記述 - 自己評価